

◎ 教会設備関係で2件をいただきました。

✦ お聖堂の冷房が、(個人差があるのと思いますが)かなり寒く感じる場合があります。「夏は暑いのを我慢する位の方が体のために良いと思うのですが?」

✦ 掲示板によるお知らせについて

4枚ある掲示板をグループ別に整理して掲示したら良いと思います。例としては◇典礼・布教関係◇行事・要理関係◇財務関係◇一般関係を1区画ずつ整理した方が「見やすく」と、思います。

9月の委員会ではご趣旨の確認と、検討するグループにお持ち帰りいただき、10月委員会で「ご意見に対する回答」を審議することとしました。

今回は、少し時間を置いて「ご意見・ご要望等」をお聴きしたいと思います。その節はご協力をお願い致します。

二点目の教会内掃除については、従来から初金曜日・他週土曜日に(旧)マリア会員のリーダーを中心に、グループの奉仕で行われてきました。

現在では、マリア会は解散され人手不足から「男性の参加」が望まれました。

しかし、今だから、男性の協力者は無く高齢化と人手不足に苦慮しています。

次に、日曜日の聖堂内掃除についてですが、「毎週行うのか、連絡時に指示が無い」「埃が舞っているだけで、ゴミが処理されていない」等の声も聴かれ、皆様にご迷惑をお掛けしております。

屋外については、ヨゼフ会有志の奉仕で「庭木の剪定等」が、年二回行われてきました。

当面の方向性として委員会は、当面は「皆が奉仕できる中和田教会内の掃除」するため、「掃除の見直し方向性」を考えております。

a. 毎週土曜日の掃除

✦ 現在グループの継続のお願いと、男性の参加を中心とした新規メンバーを「広報」で呼掛け協力者を募る。

✦ 掃除時に「スリッパ拭きが大変だ」との意見が有ります。スリッパは傷みも進んでいるとともに、数量も不足してきております。(復活祭等スリッパが不足する時があるので、「新規にスリッパを購入する」か、「個人持ちスリッパ(ご本人で管理)をお願いする」。

✦ (参考)「スリッパでなく土足にしては」との意見もありますが、「雨天後の掃除が大変である」との意見が強い。

b. 日曜日ミサ後の清掃： 毎週から毎月第四日曜日のみに変更し、心をこめて丁寧に行うこととします。また、当日の連絡は聖堂玄関に「掃除協力札」を掲げ、徹底を図る。

この取り扱いは、検討段階ですので10月委員会の後、内容をご連絡いたします。

ヨゼフ会だより

< 9月24日(日)9名出席 >

■ 連絡/報告事項： 省略

■ 審議事項：

◆ 庭の手入れ(8/12(土))の反省：

* 今年の前年度からの惰性で8月実施としてしまったが、元々8月は剪定に不向きであり、また暑いので来年度からは9月に行うことで年初から計画する。

* 高齢化が進み、梯子を使った剪定作業は見直しが必要

◆ 黙想会(8/26(土))の反省：

* 祈りの園ペトロ神父様にご指導をお願いして、ヨゼフ会としては初めての試みであった黙想会でしたが、男性9名、女性27名の計36名の参加を得て行われました。例会での座談形式の反省を末尾に記します。

◆ ヨゼフ会の運営について：

* 会費残高の話から始まって、運営自体まで議論が盛り上がりましたが、結論として、年初にヨゼフ会の年次計画をはっきり示し、それに基づいてお金の使い方も明確且つ計画的にしていくこととしました。

* 「ヨゼフ会」という名称も、再度「壮年会」に戻したほうがよいのでは、というご意見あり。(ヨゼフ会という名称には、どうしても“爺さんの集まり”という響きがある(!))

■ その他： 昨年行ったが、神父様を囲む集い(飲み会形式)を今年中に企画する。

■ 当番表確認

★ 黙想会の反省(座談)： ⇒ 5頁参照



✦ 広報 なかわだ

第327号

10月の予定

委員会	10月 8日
ヨゼフ会	10月 15日
バザー	10月 29日



祈りの園 ペトロ神父様 (8/26 黙想会にて)

2006年 10月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

平成18年10月1日



この夏に出会った人々

主任司祭 鈴木 勁介



以前、私の絵をお買い上げいただいたKさん宅に招かれて、嫁入りした娘にでも会うような気分が出かけました。久しぶりに会うのはちょっとドキドキします。やけに拙さが目立つこともありますので。でも、今回はまだ魅力が感じられてホッとしました。描いた場所はKさんにとって思い出深い所だそうで、作者の思いに何かを加えて味わっていただけているようで、よかったなと思いました。

この夏も、ある先輩から「司祭が絵を描くのは趣味なのだから、ちゃんと仕事をしろ」と叱られました。20年以上描いていますが、今だにそうです。福音を伝えるとか、証しをするって、教会の中にも新旧の考え方があって、しかもお互いなかなか認め合えない不寛容さがあるのですね。

知人のIさん宅をお訪ねしたとき、改宗者としてご両親や子供達家族の信教の自由を尊重しながら信仰を生きるご苦労や喜びを伺いました。司祭はあまり背負っていない重荷ですが、これも復活の喜びにつながる十字架であってほしいと思いました。

夏休みは某温泉で湯治と決めています。そこに「玉子屋」という「わらび餅」で有名なお菓子屋さんがあり、そこに毎日のようにコーヒーを飲みに行きます。もう何年にもなるので奥さんとは顔なじみです。たまに顔を合わせると主人とは挨拶するだけの間柄から、だんだん話をするようになり、今年はこんな話をしてくれました。

「由布院という温泉街を建て直そうと20年近く前(?)最初に動き出したのは4~5人の人だったそうです。今では全国トップになりましたが、そうすると新しい悩みが生まれてきたそうです。大資本が入り込もうとするんですね。ファースト・フードやコンビニが増えると街の風情はどうなりますかねえ。全国トップはよくない。7~8位ってところがいいですね。ここはどうしようかって考えるんですよ。先日もある友人に農家の民宿をやれと勧めたんですよ。古い大きな家で、窓を開けると一面田んぼが見えて、水洗便所なんてなくても、せんべい布団でも、清潔なシーツと枕があってさ、おかずは地の野菜ぐらいで質素でも、ご飯とみそ汁は飛びきりうまいなんてやつをね。まだ決断つかないみたいだけど」。

色々な人の所に出かけたり、招いたりして話をしてくるこの人のエネルギーが、自然に私にも元気を与えてくれました。たとえばこんな関係の中で、問われたら、「キリストを信じてるよ」って、ちょっとだけ漏らすような宣教が、粋でおとなでいいと思うのですがねえ。

お知らせ

✦ 転入：8/13付 京都教区・長浜教会より
ガブリエル 谷 牧人さん
お告げのマリア 理恵さん
トマス・アウナス 隆志さん

✦ 帰天：
マリア 萩原 君千代さん(96才)
通夜：10/1 18~ 葬儀ミサ：10/2 11:00~

✦ 募集 - 掃除への男性の参加 御願い -：
現在、土曜日の教会掃除は女性だけで行っていますが、椅子を運んだり力も必要です。是非男性の方々の御参加を御願い致します。当面、第二、第四土曜日の掃除に男性の方々の御参加を御願いします。別途掲示板にて募集しますので、宜しく御応募下さい。

✦ バザー関係の御願い：

- ◆ バザー券の景品になるものの御寄付を御願ひします。
- ◆ 新品不用品、調味料などを御提供下さい。
- ◆ 自主製作品2品以上御提供下さい
- ◆ 作品、新品不用品の締め切りは10月15日
- ◆ 値段付けを10月2日(月)10時から行います。
- ◆ 10月28日(土)10時からバザー前日の準備
- ◆ バザー当日の売場担当表にお名前を御記入ください。 以上宜しく御願ひ致します。



✦ バザーの為のマドレーヌ作り：

- ◆ 10名募集します。ご協力下さい。
 - ◆ 日時：10/26(木)pm1時集合 時間厳守
 - ◆ 場所：立場地区センター調理室 2階
 - ◆ 持ち物：エプロン、三角巾、フキン
- お手伝い出来る方は掲示板にお名前を御記入ください

✦ バザー前日(土曜日)のミサ：pm3時から



皆で聖体奉仕者を理解しよう

中和田教会委員会

2006年6月委員会だよりで、中和田教会の聖体奉仕者を理解するため「広報に掲載して、皆さんに呼びかけていく」としていました。

委員会は、鈴木主任司祭にご指導をいただき、「皆で聖体奉仕者を理解しよう」を作成いたしました。お読みいただき「中和田教会聖体奉仕者募集」にご準備下さい。

{資料は、2003年に行われた、横浜教区の「聖体奉仕者研修報告」(インターネット記事)と、典礼研修内容を参考としました。}

1. なぜ、聖体奉仕者は必要なのか

主日ミサは司祭だけが挙げるものでなく、司祭・修道者・信徒が協力して行うものです。ただしミサ中の「感謝の典礼」(*-1)を行えるのは司祭のみです。

この聖体を、参列者の多いミサ時に司祭とともに、信徒に拝領するのが聖体奉仕者の役目です。また、主日ミサに来られない信徒のため、聖体をお届けして拝領させるため、聖体奉仕者は必要なのです。更に司祭が不在の時は、主日ミサに変わり集会祭儀が行われます。その時、聖体奉仕者は必要なのです。

(*-1) 感謝の典礼: 最後の晩餐において、キリストは過越のいけにえと会食とを制定され、主ご自身が行い、そしてご自分の記念として行うよう弟子たちに託された。同一のことを、司祭が主キリストの代理として行うことにより、十字架のいけにえが教会においてたえず、秘跡的に現存するものとなる。

2. 病者訪問とは(聖体拝領はミサにつながっている)なんです

私たちは、主の死と復活を記念するために主日に集い、共同体としてミサを捧げ、聖体をいただき、派遣されていきます。

しかし、病気の床にあるとか、高齢などのために、主日に教会へ来ることができない兄弟姉妹もいます。この兄弟姉妹にも心を配り、聖体を運ぶことによって主イエスの愛といつくしみを示すことができます。

できることなら主日のミサ後に、共同体の一員として聖体奉仕者の方がその方々に聖体を運ぶことが望まれます。(病者は共同体と共にミサに参加したことになります。)訪問時は、(病者の容態や事情が赦されるなら、)その主日の福音書を朗読したり、説教の要旨を話すことが望まれます。

3. 聖体奉仕者の心得はどんなことですか

- ① 主任司祭から病者に聖体を持って行くように依頼されたら、聖体奉仕者として喜んで、謙虚にその役割を受けます。
- ② 聖体奉仕者は、つねに「仕える者」として働きます。
- ③ 聖体奉仕者は、司祭から聖体をピクシス(容器)に入れていただき、ふさわしい袋などに包んで直に出掛けます。途中で他の用事をしたり、友人と雑談したりしないで、まっすぐに病者のもとに向かいます。
- ④ 奉仕者は手を清潔に、きれいにしておくよう心がけましょう。
- ⑤ 奉仕者は特に深い崇敬の心をもって聖体に接し、式次第に従って聖体を授けることが大切です。
- ⑥ 聖体を授ける人は、聖体奉仕者か家族の者に限られます。聖体は神の賜物ですから、聖体拝領する人は、聖体を自分で取らないで、聖体奉仕者から受けます。
- ⑦ 病者が後日、自分で聖体を拝領するために聖体を家に残すことは許されません。
- ⑧ 病者の介護にあたる家族の方が信徒で、希望するなら、病者と共に聖体をうけることができます。
- ⑨ 奉仕者の大事な役割は、病者に聖体を運ぶことです。(ミサにあずかれないとき)雑談にふけったり、または、病者とか家族の様子といったプライバシーに関わることを他言しないように十分に注意しましょう。

4. その他配慮すべき事項はなんですか

- (1) ミサの聖体拝領時に配慮することは
 - ☆ 事前に手をきれいに洗うこと
 - ☆ 化粧・身だしなみを清潔にすること(両形態)
 - ☆ ご聖体を落とさないこと
 - ☆ 未信者への対応(ご聖体は渡さないこと)「祝福するとよい」
- (2) 病者訪問時に配慮すること
 - ☆ 司祭の指示に従うこと
 - ☆ 事前に病者の都合を聞くこと

5. 中和田教会は皆で奉仕者になろう

教会役員等の経験は全く不要です。主任司祭の推薦後に、教区の研修もあり「誰にでもでもできる奉仕です」。将来的には、聖体奉仕者の経験を活かして、教会の使命——交わりとしての教会づくり——に一翼を担う心を養うことが望まれています。



敬老のお祝い <9/17(日)>



委員会だより

<9月10日(日)9名出席>

■ 連絡事項:

- (1) 行事計画:
 - ☞ 9月17日(日)・敬老のお祝い
 - ☞ 10月主日ミサ前に「ロザリオの祈り」
 - ☞ 10月29日(日)バザー:前日(10/28)準備の日、ミサは午後3時を予定。



■ 審議事項

- (1) 聖体奉仕者について:
 - ☞ 別項「皆で聖体奉仕者を理解しよう」をご参照下さい
- (2) 「委員会後記ご意見箱」の「ご意見」について:
 - ☞ 「委員会後記」をご参照下さい
- (3) 中和田教会内の掃除について(別資料配布):
 - ☞ 「委員会後記」をご参照下さい

■ 各グループ報告

1. 典礼 G(布教 G 竹内さん;別資料配布):
 - ☞ 湘南短期キリスト教セミナーの日程は、11月11日、18日、25日
 - ◆ 講師は、五木寛之(作家)、阿部仲麻呂(司祭)、森一弘(司教)
 - ☞ 典礼委員会を開催(9/3)
 - ◆ ホワイトボード:取り扱いに関する提案をつくる
 - ◆ 鈴木神父から典礼に関する要望あり(入堂、お辞儀の仕方、マイクの使い方、朗読後の黙想)
2. 行事 G:「敬老のお祝い」・「バザー」の準備状況:
 - (1) バザー委員会報告
 - ☞ 敬老のお祝い:17名出席、10名欠席、あとは未着。アトラクションは渡邊神父バイオリン、小谷さんハーモニカ、子どもたちのお祝いの挨拶
 - ☞ バザー:日程表をつくった(一般の募集も入っている)
3. 広報 G:
 - ☞ 毎月120部発行しているが、今後130部とする
 - ☞ 7/22に高円寺教会で開催された、教会HP担当者会議への出席報告
4. 要理 G:一粒会と神学生と第5地区子どもたちの交流会報告
 - ☞ 子どもが34名参加した。(中和田教会からは14名)

- ☞ 内容的には浜田助祭に考えて頂いた内容に沿っていた。
- ☞ 子どもたちも面白かったみたい。反省会を先週の日曜にやった。
- ☞ 来年度も子どもたちの交流を(今回の内容も含めて)計画していく由
- ☞ 要理学校:高野神父様が、来年堅信の子どもを11月の研修に参加させる予定。
- ☞ 初聖体は11/19に女子1名、11/26男子2名の予定

■ 自由発言

- (1) 来年度教会委員についての考え方、議論(略)
- (2) 12/24の件、他:
 - 本年は日曜日でありミサは9:00am、8:00pmの2回。
 - その他、ミサに関する予定:
 - 11/5: 子どもミサ十七五三
 - 11/12: 死者のためのミサ
 - 12/25は10:00am
 - 1/1 10:00am

06年9月委員会後記 委員長 下村 毅

今月は、「委員会後記ならびに委員会に対するご意見・ご要望」と「教会内掃除」について、委員会の雰囲気を中心に述べます。

一点目は、2006年6月委員会後記で、今後(この後記を)継続して行くために「皆様からご指導・ご鞭撻」をいただきたい。また、この機会を利用して「委員会に対するご質問・ご意見・ご要望」をお伺いするため、意見箱を2006・7・2～2006・8・13まで設置いたしました。その結果、4件をいただきました。誠に、ありがとうございました。その内容を典礼関係と教会設備関係に分けて紹介いたします。

◎ 典礼関係で2件

- ☞ ミサの中でパンとぶどう酒が会衆に示される時、起立したまま頭を下げていますが、ひざまずいて祈った方が良いと思います。
- ☞ ミサ閉祭時のお知らせは、派遣の祝福前3～5分で行い、長くなるお知らせはミサ終了後に行った方が良いと思います。